

Q 現場施設で働く中で、大変だったことはなんですか？

回答：矯正局 採用19年目



思い返してみると、正直、楽しかったことしか思い浮かばないのですが、強いて大変だったことを挙げるとすれば、「朝が早いこと」でしょうか。

現場施設（刑務所）では、基本的に受刑者の動作時限（時間割）に合わせての勤務になり、受刑者の刑務作業が始まるのは午前7時半頃なので、職員もそれに合わせて出勤する必要があります。早起きが苦手な私は苦労しましたが、逆に、日勤であれば午後5時頃には勤務が終わるので、「アフター5」は趣味の時間に充てたり、職員さんにご飯を食べに行ったりして、リフレッシュしていました。

それと、武道の心得がない上に身体が硬い私は、「護身術の訓練（特に受け身の取り方の訓練）」には苦労しました。職員になる上で武道の心得は必須ではないものの、職員になったら護身術は必ず体得しなければならないので、身体の柔軟性や体幹を鍛える、機会があれば柔道や剣道にチャレンジしてみるなどの取組を少しずつしていただけると良いかなと思います（ただ、こんな私でも、勤務先で武道に精通した職員さんたちから懇切丁寧にご指導いただき、それなりにできるようにはなったので、ご安心ください。）。